

第640回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

ラジオ番組

ラジオ番組「近藤丈靖の独占ごきげんアワー『ものもらいの呼び方』」
(平成30年度日本民間放送連盟賞ラジオ生ワイド番組部門出品作品)



平成30年9月26日

BSN新潟放送

第640回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成30年9月26日(水) 午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	古賀 豊	副委員長	佐藤 元
委員	小島 良子	委員	渡邊 信子
委員	石坂 智恵美		

○審議番組事前レポート提出

委員	服部 誠司	委員	細田 康
委員	小原 清文	委員	高木 言芳

○委員側欠席者 (敬称略・順不同)

委員 池田 幸博

○放送事業者側出席者

社長	佐藤 隆夫	常務	島田 好久
放送本部長	小原 弘志	編成局長	増山 由美子
情報センター長	丹羽 崇		

<説明員> ラジオ放送部 佐藤 智也 (BSNウェブ)

事務局 阿部 基行 (編成局テレビ編成部長)

4. 議題

1 報告事項 JNN中部ブロック番組審議会委員長会議の報告(編成局長)
10月の番組について(各局長)

2 審議番組 ラジオ番組
「近藤丈靖の独占ごきげんアワー『ものもらいの呼び方』」
(平成30年度日本民間放送連盟賞ラジオ生ワイド番組部門出品作品)

5. 議事の概要

編成局長からのJNN中部ブロック番組審議会委員長会議の報告と各局長からの2018年10月度番組報告等について、ラジオ番組「近藤丈靖の独占ごきげんアワー『ものもらいの呼び方』」(平成30年度日本民間放送連盟賞ラジオ生ワイド番組部門出品作品)について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- 「ものもらい」に色々な呼び方が出ていて、新潟県が多くの県に接している上に南北に長いと言うことを改めて感じた。
- スタジオでJRの運転見合わせの情報を伝えた後の中継で、レポーターがしっかりとフォローしているのが良かった。ラジオのレスポンスの良さを感じることが出来た。
- とにかく面白かった。ラジオの基本は、運転などをしながらの“ながら視聴”で、それがラジオのメリット。ラジオの良さを改めて感じる事が出来た。
- 地域・年代などによって呼び方が変わる「ものもらいの呼び方」というテーマで、話題の切っ掛けを提供してくれる内容で笑顔になれる番組と感じた。
- 久しぶりにラジオを聴いた。テレビとは違う伝え方があると実感した。
- この番組を視聴して番組やアナウンサーのブログやツイッターのチェックをしたところ、ブログの更新が遅れているのが気になった。ブログを作るのであれば、タイムリーに随時更新した方が良い。
- 新潟弁を伝えて行くことが、ふるさとの文化を伝える事に繋がると感じさせてくれた。
- ロート製菓さんの調査を入れたのは、面白かった。裏付けがあり、効果があったと思う。

～新潟放送 ラジオ放送部 佐藤智也ディレクターから～

- 貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。毎年8月に自由研究と言うテーマを設けて放送しています。言語に対して興味・関心を持っていたので、放送が終わった後に「ものもらい」はって会話が生まれて欲しいと思ってテーマを選びました。毎日テーマが必要なので、身近な事から疑問に思うことなどからテーマを選んでいきます。ラジオはSNSと相性が良いと感じていて、ご指摘の通りSNSへの対応は課題と思っています。放送に集中しすぎて更新等が遅れがちになるケースがありますが、SNSの良さを理解した上で、放送内容の補足をするなどSNSでも発信するよう努めたいと思います。言語が文化を内包するだけでなく思い出も内包してくれていると思っています。今後も言語を意識して番組を作っていきたいと思っています。ご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

【文責・番組審議会事務局】
